

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界リート・オープン」は、信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。

当ファンドは、北米リート・マザーファンド、アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対し改めてお礼申し上げます。

今後とも弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

第94期末(2018年7月11日)

償 還 価 額	7,446円46銭
純 資 産 総 額	0.744646百万円
第91期～第94期	
騰 落 率	9.1%
分配金(税引前)合計	12,147円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報「償還ファンド運用報告書」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

世界リート・オープン

追加型投信／海外／資産複合

【償還】

作成対象期間：2018年3月16日～2018年7月11日

交付運用報告書

第91期(決算日2018年4月16日) 第93期(決算日2018年6月15日)

第92期(決算日2018年5月15日) 第94期(償還日2018年7月11日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

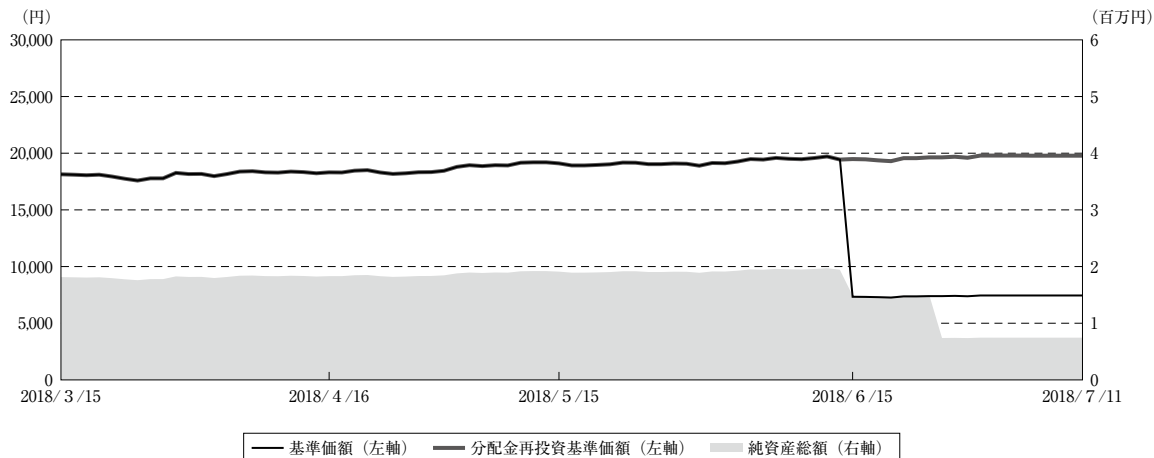
<https://www.okasan-am.jp>

*アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年3月16日～2018年7月11日)



第 91 期 首：18,136円

第94期末（償還日）：7,446円46銭（既払分配金（税引前）：12,147円）

騰 落 率： 9.1% （分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)**○北米リート・マザーファンド**

- ・米国のウェルタワーやサイモン・プロパティー・グループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。
- ・為替が対米ドルや対カナダドルで円安となったことがプラスに寄与しました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

- ・オーストラリアのインベスタ・オフィス・ファンドやビシニティ・センターズなどが上昇したことがプラス寄与となりました。
- ・為替が対シンガポールドルで円安となったことがプラスに寄与しました。

○アジアリート・マザーファンド

- ・シンガポールのビバ・インダストリアル・トラストやパークウェイ・ライフREITなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

- ・英国のセグロやハマソンなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

(主なマイナス要因)**○北米リート・マザーファンド**

- ・米国のメイスリッチが下落したことがマイナスに影響しました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

- ・シンガポールのサンテック・リアルエステート・インベストメントトラストやスターヒル・グローバルREITなどが下落したことがマイナスに影響しました。

○アジアリート・マザーファンド

- ・CDLホスピタリティー・トラストやケッペルREITなどが下落したことがマイナスに影響しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

- ・フランスのクレピエールや英国のアシュラなどが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替が対ユーロや対イギリスポンドで円高となったことがマイナスに影響しました。

※2018年6月12日付で当ファンドの主要投資対象ファンドを「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」から「アジアリート・マザーファンド」に変更しました。

1 万口当たりの費用明細

(2018年3月16日～2018年7月11日)

項目	第91期～第94期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 81	% 0.513	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(50)	(0.314)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(28)	(0.175)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.024)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.022	(b) 売買委託手数料 = 作成期間中の売買委託手数料 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(4)	(0.022)	
(c) 有価証券取引税	1	0.008	(c) 有価証券取引税 = 作成期間中の有価証券取引税 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(1)	(0.008)	
(d) その他費用	39	0.248	(d) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(5)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(34)	(0.217)	テンダーオファーに応じて得た償還金に係る税金等
合計	125	0.791	
作成期間中の平均基準価額は、15,799円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

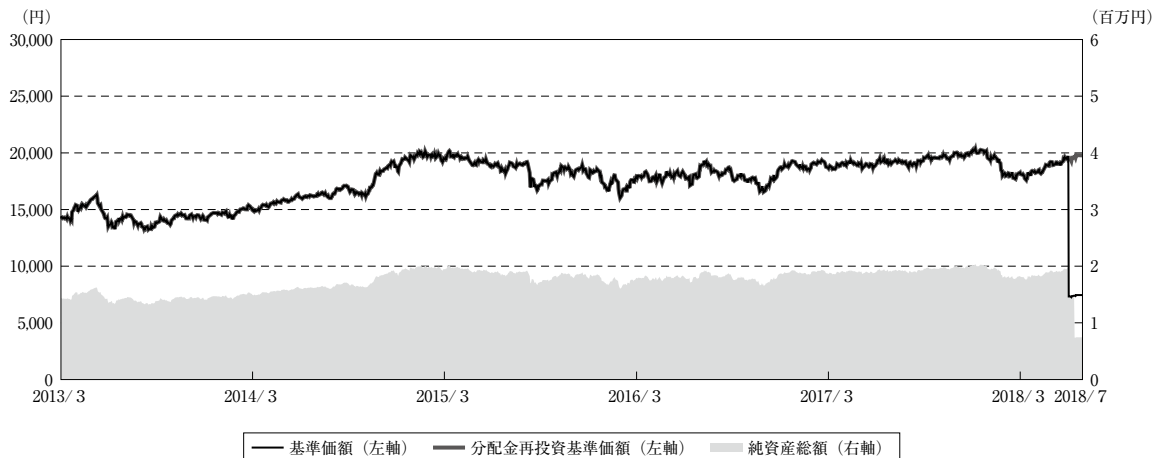
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年3月15日～2018年7月11日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2013年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年3月15日 期初	2014年3月17日 決算日	2015年3月16日 決算日	2016年3月15日 決算日	2017年3月15日 決算日	2018年3月15日 決算日	2018年7月11日 償還日
基準価額 (円)	14,408	14,850	19,434	17,914	18,622	18,136	7,446.46
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0	12,147
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.1	30.9	△7.8	4.0	△2.6	9.1
FTSE NAREIT Equity TR Index騰落率 (%)	—	3.7	20.5	2.9	6.0	2.5	9.9
S&P/ASX 200 A-REIT Index騰落率 (%)	—	△2.1	29.8	2.1	△1.2	△0.8	9.0
FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index騰落率 (%)	—	9.8	38.4	△6.1	△6.0	5.9	5.5
純資産総額 (百万円)	1	1	1	1	1	1	0.744646

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、2018年7月11日の騰落率は2018年3月15日との比較です。

(注) FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

なお、投資対象ファンド変更に伴い、アジアリート・マザーファンドは前投資対象ファンドと参考指数は異なっておりますが、作成対象期間を考慮し、上記は前投資対象ファンドの参考指数で記載しております。(以下同じ)

投資環境

(2018年3月16日～2018年7月11日)

米国のリート市場は、ホテル系リートが同業のリートに買収提案を行ったことを受けて、リーートの業界再編期待が高まる一方、商品市況の上昇を背景にインフレへの懸念から長期金利が急上昇したことが悪材料となるなど、方向感に欠ける展開となりました。5月以降は、雇用統計などの経済指標が良好な内容となったことなどから、景気拡大期待が高まり、上昇する展開となりました。また、米中貿易摩擦の激化懸念から、安全資産とされる国債が買われ、長期金利が低下したこともリーートの利回り面での投資魅力につながり、好材料となりました。

オーストラリアのリート市場は、住宅やオフィスビルなどに投資する大手リーートの2018年1－3月期の業況報告が良好な内容となったことなどを受けて、リーートの業績に対する見方が改善し、4月にかけて底堅い展開となりました。その後も、豪中央銀行（RBA）が公表した政策決定会合の議事要旨で、インフレ率の上昇ペースは緩やかになるとの見通しが示されました。これを受けて、緩和的な金融政策が維持され、リーートの良好な資金調達環境が続くとの見方が拡がり、堅調な展開となりました。

ヨーロッパのリート市場は、欧州中央銀行（ECB）がユーロ圏の景気拡大が継続するとの見方を示したことなどから、不動産市場に対する楽観的な見方が強まり、作成期初より堅調に推移しました。5月中旬にかけて、イタリアにおける政治的な不透明感が高まったことや米国の保護主義的な姿勢が嫌気されて、上値の重い展開となりました。6月にかけては、ECBが2019年夏までは政策金利を現行の低い水準で据え置くとしたことなどが好感されて、持ち直しました。償還日にかけても長期金利が低水準で推移したことを受け、リーートの利回り面での魅力が選好されました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年3月16日～2018年7月11日)

<世界リート・オープン>

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の各受益証券の組入比率は、合計で概ね90%以上で推移させました。

償還への対応のため2018年7月2日にマザーファンドの組入比率をゼロとし、その後は短期金融商品等による安定運用に切り替えました。

また、2018年6月12日に約款変更を行い、投資対象ファンドを「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」から、「アジアリート・マザーファンド」へと変更致しました。これに基づいて、投資対象ファンドの入れ替えを行い、6月12日に入れ替えが完了しました。

○北米リート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

北米の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、資金の流出入に合わせて国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

米国のHCPやヘルスケア・リアルティ・トラストなどを全て売却した一方、米国のナショナル・リテール・プロパティーズやブリックスモア・プロパティ・グループなどを新規に買い付けました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

オセアニア地域、アジア各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

オーストラリアのウエストフィールド・コープ（現ユニベイル・ロダムコ・ウエストフィールド）を全て売却した一方、日本のケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人を新規に買い付けました。

○アジアリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

アジア各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

ヨーロッパ各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

フランスのコビビオ等を全て売却しました。

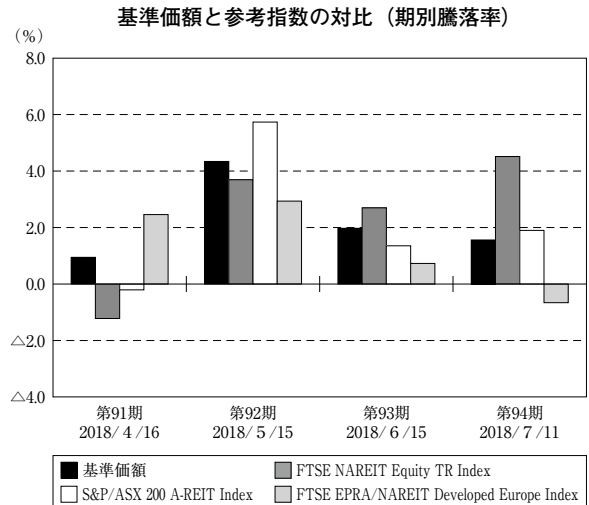
(為替)

組入外貨建資産につきましては、当ファンドおよび「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」とも、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月16日～2018年7月11日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexです。

分配金

(2018年3月16日～2018年7月11日)

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。当作成期間におきましては、第91期、第92期は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指す観点から、分配を見送らせていただきました。

第93期は、分配対象収益を積極的に分配し、主に配当等収益を原資として、1万口当たり12,147円（税引前）の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行いました。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第91期	第92期	第93期
	2018年3月16日～ 2018年4月16日	2018年4月17日～ 2018年5月15日	2018年5月16日～ 2018年6月15日
当期分配金	-	-	12,147
(対基準価額比率)	- %	- %	62.359%
当期の収益	-	-	23
当期の収益以外	-	-	12,123
翌期繰越分配対象額	12,044	12,119	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

お知らせ

- ・運用指図に関する権限の委託先における再委託先運用会社が正式に認可されたことにより、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2018年6月12日）
- ・投資対象の変更および投資対象の拡大を図るため投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2018年6月12日）
- ・当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還に関する規定である5億口を下回る状態が継続しており、新たな取得申込が見込みにくいため、2018年7月11日付をもって投資信託契約の解約を行い、繰上償還となりました。

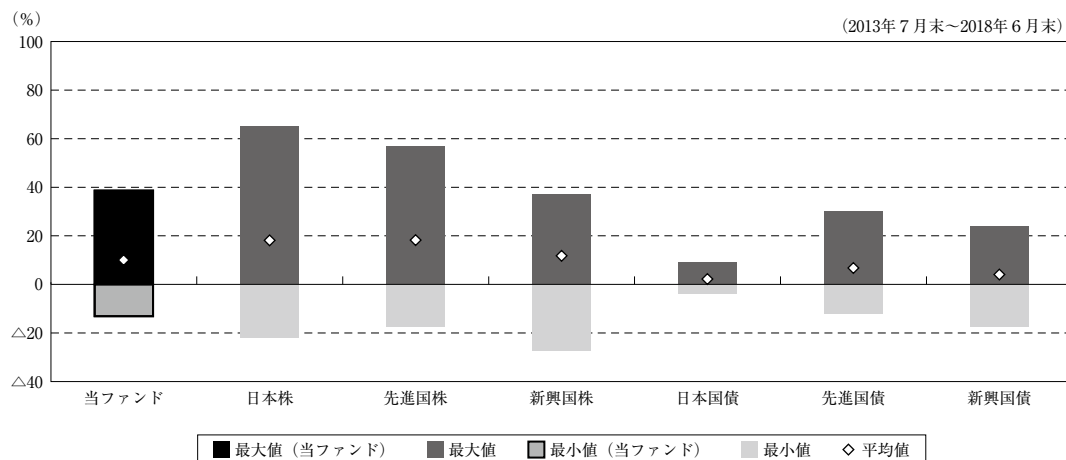
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2010年9月22日から2018年7月11日（当初2020年9月15日）までです。	
運用方針	北米リート・マザーファンド、アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）の各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	各マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。また、不動産関連の株式およびETFに直接投資することもあります。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	アジアリート・マザーファンド	アジア（日本を除きます。）の取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	各マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	アジアリート・マザーファンド	アジア（日本を除きます。）の取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資し、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

※ヨーロッパリート・マザーファンドは、2018年6月29日に約款変更を行い、運用指図に関する権限の委託先がドイチュ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（イギリス）リミテッドからリーフ アメリカ エル エル シーに変更になりました。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	38.6	65.0	57.1	37.2	9.3	30.4	24.1
最小値	△13.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	10.0	18.1	18.2	11.7	2.2	6.7	4.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年7月から2018年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デリバティブ (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年7月11日現在)

有価証券等の組入れはございません。

純資産等

項目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末(償還日)
	2018年4月16日	2018年5月15日	2018年6月15日	2018年7月11日
純資産総額	1,830,680円	1,910,167円	1,486,047円	744,646円
受益権総口数	1,000,000口	1,000,000口	2,026,802口	1,000,000口
1万口当たり償還(基準)価額	18,307円	19,102円	7,332円	7,446円46銭

(注) 当作成期間(第91期～第94期)中における追加設定元本額は1,026,802円、同解約元本額は1,026,802円です。

＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE NAREIT Equity TR Indexは、FTSE Groupが発表する米国リートの代表的な指数です。配当を考慮したトータルリターン・ベースで、1971年12月31日を100として算出しています。

S&P/ASX 200 A-REIT Indexは、オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成されるA S X 200のうち、不動産関連証券で構成される指数です。

FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは、FTSE Groupが算出する指数で、売買高の大きいヨーロッパの不動産関連証券によって構成されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。